

＜先週の説教から＞

『主に倣う者として』 柳田洋夫 牧師

テサロニケの信徒への手紙 一、1章1～10節

『テサロニケの信徒への手紙一』は、新約聖書の中で最も古いもので、紀元50年頃に書かれたものと考えられています。そうだとすれば、イエス・キリストの十字架と復活（紀元30年頃）からそれほど隔たっていない、いわば生まれたての教会の姿をうかがい知ることができるという意味においても大事な書簡であると言えるでしょう。パウロは、テサロニケの教会の人々がしっかりと信仰の歩みを続けていることについて「神」に感謝しています。テサロニケの人々の歩みはあくまでも神ご自身によって導かれたものであることをここでパウロは強調しています。

また、キリスト者としての信仰と生活について重要なことが述べられています。たとえば、「信仰」「希望」「愛」という大事な原則（キリスト教の三元徳）がすでに「働き」「労苦」「忍耐」を伴うものとして述べられています。これらの、どちらかといえば避けたいことを抜きにしたならば、信仰・希望・愛も絵に描いた餅になってしまうのです。

また、「選び」についても述べられていますが、選びとは、何らかの特権というよりは、イエス・キリストの福音を宣べ伝える使命を伴うものです。アブラハムが「諸国民の父」となるべく最初に選ばれたこともここで思い起こされます。

パウロはまた「倣う」という言葉を使っています。これは「習う」と違って、体でキリスト者としての生き方を学び身に着けていくことを指し示しています。まず、パウロがイエス・キリストに倣い、そのパウロを教会の人々が倣う、そのようにしてキリスト者としての生き方あり方が伝えられてきたし、これからもそうなのです。

パウロはまた、テサロニケの教会の人々の歩みがギリシャ全土に知れ渡るほどに「模範的」なものであったと述べています。しかしそれは、ローマの神々の崇拝を拒否することなどに伴うさまざまな苦しみも伴うものでありました。それでいて、そこには誰にも奪われない喜びがありました。私た

ちも、そのような、苦難の中においても聖霊の力によって神の恵みの中に生かされる喜びを祈り求めたいと思います。

私たち自身もまた、教会の内外において、時には思いもかけないかたちで何らかの「模範」とみなされることもあるでしょう。私自身、初めて出席した祈禱会で、自分のためではなく隣人のために祈る信仰の先輩方の姿にたいへん感銘を受けました。それが私自身の「倣う」ということの始まりであったかもしれません。

いずれにせよ、私たちは、神がイエス・キリストによって示し、与えてくださった、まことのいのちの喜びに生きる幸いをこの世の隣人と分かち合うべく召されています。それは分かち合うほどに豊かにされるものです。そして私たちは、その分かち合いによってこそ、いっそう大きな、確かな喜びの中に生かされる者たちであります。

【今週の集会】

*聖書研究・祈禱会 I. 9月4日(水) 20:00
II. 9月5日(木) 10:30

聖書研究: ローマ書(夜)・ハイデルベルク(朝)
祈禱主題: 礼拝長欠者を覚えて
担当者: (水) 鈴木 (木) 矢崎
祈りに覚える人: 岡本さん 小草さん 岡田さん

【教勢報告】

主日礼拝 男19 女45 計64
祈禱会 I. 男5 女2 計7 II. 男1 女5 計6
日曜学校 幼稚科4 小中科7 計11

【次週主日礼拝】 9月 8日(日)

聖書: ヨエル書 3:1~5
ルカによる福音書 3:12~18
説教: 「ルカ②—聖霊と火の中へと」

武田 真治 牧師

讃美歌: 131(1)、32、549、543、451、88(1)

【次週当番表】

司式: 坂田長老 奏楽: 須田 礼拝: 齋藤長老
献金: 高橋 高橋 受付: 鈴木 橋本
会堂準備: 飯島 岡本 金刺 中村 森本

看板: 岩佐 週報: 金刺 お花: 茨木

【次週集会予定】

礼拝前: ・聖書輪読会 ・求道者会
礼拝後: ・敬老祝福 ・お茶の会 ・牧師と語る会
・壮年会婦人会合同研修会 13:30~

週報

2024年度 教会標語

「主につながり、その枝としてひろげて」

2024年 9月 1日

日本キリスト教団 上尾合同教会
牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33
TEL&FAX 048-771-6549
<http://www.ageo-church.org/>